

さらなる発展にチャレンジ

おおい町長に中塚氏3選

任期満了に伴うおおい町長選が告示され、現職の中塚寛氏が無投票で3選を果たした。こども・子育て応援日本一の町、わかさ・チャレンジ日本一の町づくりを継続し、3期目は地域・産業の未来を拓く、さらなるチャレンジに意欲を燃やす。

コロナ収束時に 大声で万歳を

立候補の受付が終わる午後5時すぎ、選挙事務所近くに設けられた会場に「他に届け出はなく無投票当選が決まった」とアナウンスされると、支援者から拍手がわいた。当選の一報を受けて会場に選挙カーで到着した中塚寛氏は、会場に集まった約350人の支援者一人ひとりに頭を下げ、支援者から「おめでとう」と

次々に声がかけられた。

新型コロナウイルス感染症のまん延やロシアのウクライナ侵略、東日本の地震などの状況を踏まえ、万歳などお祝いムードを控え、中塚氏や後援会の意向により「当選報告会」として開催する旨が伝えられ、中塚氏がマイクを持ち「万歳をしている場合ではない。コロナが治まった時には、皆さんと大きな声で万歳を叫びたい。今日は、みんなが主役のまちづくりに向け、そし

てコロナが治まり世界が平和

になるよう頑張ろうを皆さんと三唱したい」。中塚氏の拳を突き上げ「頑張ろう」の掛け声に合わせ、支援者らも拳を挙げ「頑張ろう」を三唱。会場は朝の出発式に降っていた雨も上がり、オレンジ色の夕日に染まっていた。

信託の無投票 しっかり仕事を

後援会や支援者代表から花束贈呈の後、中村保博副知事

があいさつに立ち「信頼できる人は中塚町長しかいないと信託の無投票、全く私も同感です。おおい町の8千世帯の方々の暮らしの安全と安心、町の益々の発展に今後もより一層、知事と中塚町長がタッグを組んで取り組んでいただきたい。県も最大限の努力をすることを約束する」。

お祝いに駆け付けた市長、町長が前に並び、代表して創生福井首長の会会長の松崎晃治小浜市長が「私は広域でよく一緒に働いてきた。決断力、思考力、判断力のある中塚町長とまた一緒にやっていたことを大変、嬉しく思っている」。続いて、県町村会会長の杉本博文池田町長が「引き続き、中塚町長のご活躍、そしておおい町のご発展をお祈りします」。若狭市町村会長の野瀬豊高浜町長が「中塚町長の仁徳を見習いたい。一緒に大飯郡を盛り立てていきましょう」。